

Classico

PRESS RELEASE

2016年11月1日

国内3万人の医師が信頼し愛用する白衣ブランド「Classico」

「コウノドリ」モデル医師など5名の名医が信念と白衣を語る特設サイト公開!

～編集ライター朽木誠一郎氏がインタビュー～

2008年に創業し、「The only doctor coat tailor」をビジョンに、テーラード技術を取り入れた白衣を中心とした医療用品の企画・製造・販売を行うクラシコ株式会社(所在地:東京都渋谷区 代表取締役社長:大和 新)はこの度、ドラマ化された人気マンガ「コウノドリ」(講談社)の主人公のモデルとなった荻田和秀医師、情熱大陸に出演の大藤剛宏医師など、当社製品のユーザーである5名の名医に、仕事への信念と医療の現場での白衣の存在価値についてインタビューしたコンテンツ『PEOPLE WHO WEAR A LAB COAT』を2016年11月1日(火)にWEB公開いたしますのでご案内いたします。

医療業界の仕事着であり仕事のモチベーションをあげる白衣。医師が憧れるトップクラスの医師5名にスポットライトを当て、医学部卒のライターとして活動している朽木誠一郎氏(ノオト所属)によるインタビュー取材で、命を預かる第一線の現場で活躍する名医の考えや白衣に対する思い入れなどを綴ります。

『PEOPLE WHO WEAR A LAB COAT』 白衣を身に纏ったプロフェッショナル達のストーリー

<http://www.classic.jp/stories>

People
Who Wear a Lab Coat
白衣を身に纏ったプロフェッショナル達のストーリー
Classico

Scary
大藤 剛宏
岡山大学
臓器移植医療センター教授
自分が手術をすれば、
100% 助かるという自信がある

Scary
荻田 和秀
りんくう総合医療センター
産婦人科部長
どんなに状態が深刻でも、
笑顔で向き合いたい

Scary
手取屋 岳夫
上尾中央総合病院
心臓血管センター長
自分にしかできないことを求めると、
歪みが生まれる

Scary
安藤 正明
倉敷成人病センター院長
ピラミッドのてっぺんにいる人間は
他の追随を許してはいけない

Scary
竹政 伊知朗
札幌医科大学消化器・泌尿器・
乳癌・内分科外科学講座教授
絶望の淵から人が立ち上がる。
その姿に自分自身も励まされる

名医とクラシコの白衣



着用白衣:クラシコテラー

岡山大学 臓器移植医療センター教授

大藤 剛宏 医師 Takehiro Oto

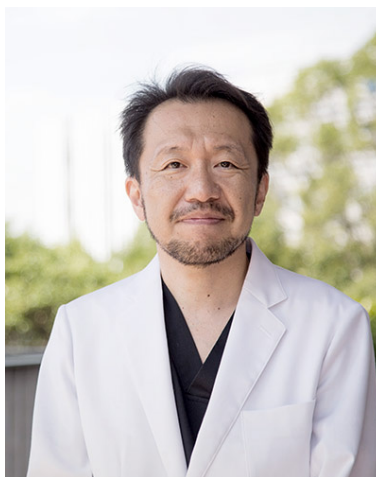
手術室では術衣が戦闘服です。一方、白衣は正装。特別なものです。医師が白衣を脱いで患者さんに接しても構わないと思うのですが、私自身はやはり正装で向き合いたいですね。白衣を着ると、**医師としてのスイッチ**が入ります。

白衣を選ぶポイントは涼しさですね。基本的にはずっと屋内にいる仕事ですし、冬でも暑くなることがありますから、**通気性**は大切なポイントです。あとはやっぱり正装ですから、**カッコいい白衣**がいいですね。

白衣は実験着ではないし、白ければいいというものでもありません。ダボツとした白衣をまとうと気分も下がってしまうので、**ポディラインに沿ったもの**を選ぶようにしています。クラシコは全体的な**シェイプがスマート**なので、医師としてのスイッチを入れるには一番だと思います。

Profile

岡山大学医学部医学科卒業。オーストラリアへ留学後、岡山大学臓器移植医療センター教授を務める(現職)。移植先進国であるオーストラリア留学の経験から、諸外国では当たり前に行われる肺移植について、臓器提供の少ない日本では助かるはずの命が助かっていない現状に直面、それを打破するべく、さまざまな発想から新しい移植手術に挑戦し続けている。



着用白衣:ライトショートコート

りんくう総合医療センター 産婦人科部長

萩田 和秀 医師 Kazuhide Ogita

白衣に着替えることによって、**気持ちの切り替え**ができますよね。難しい出産が待っている時は、「よし、これを着るぞ」と白衣を**勝負服**に見立てることもあります。自分の中での**おまじない**のようなものです。

白衣は**医者アイコン**です。選ぶポイントはぶっ飛びすぎず、とはいえ**多少の自己主張**があり、着ていて疲れない、でしょうか。クラシコの白衣はユニークでありながら体にしっかりと**フィット**するので、気に入っています。あとは、一日中外来で着用することもあるので、へたらないのも大事ですね。**縫製がしっかり**しているクラシコの白衣は着崩れしにくく、**第一印象をキープ**するのにも役立っています。

Profile

香川医科大学医学部卒業。大阪大学医学部附属病院、大阪警察病院、大阪府立母子保健総合医療センターを経て大阪大学大学院医学系研究科卒。卒後大阪大学医学部附属病院分娩児部病棟医長勤務の後、2008年にりんくう総合医療センター産婦人科部長に就任。産婦人科医師減少のため近隣の公的病院を集約化した「泉州広域母子医療センター」のセンター長・周産期センター長を兼務する。



着用白衣:クラシコテラー

上尾中央総合病院 心臓血管センター長

手取屋 岳夫 医師 Takeo Tedoriya

実は、僕はいわゆる白衣というのはあんまり着ていないんですよ(笑)。

30年間外科系なので、入局のプレゼントもいわゆるスクラブだったくらいで。今でも院内ではほとんど手術着を着ていますね。手術室にいる方が落ち着くほどです。

ただ、やっぱり医師は**身なりにも気を使うべき**だと思います。以前留学していたイギリスでは、外科医というのが特別な職業で、きっちりジャケットを着て診察していました。同じように、患者さんに**清潔な印象を与える**ためには、日本であれば白衣を着用した方がいいでしょう。

それに、うちは病院としてクラシコの白衣を導入していますよね。そうやって**チームアイデンティティ**を育むのも、白衣の役割だと思います。

Profile

1987年金沢大学医学部卒業、1992年同大学大学院医学系研究科修了。金沢大学第一外科をはじめ、約8年半日本で心臓血管外科に携わる。ドイツのベルリン心臓センターとオーストラリアのSt.Vincent's Hospital Sydneyへ留学後、昭和大学主任教授を務め、退任後は上尾中央総合病院心臓血管センター長として診療顧問を務め最新治療法を積極的に採用している。

Classico

PRESS RELEASE

2016年11月1日



着用白衣:二重織りチェスターコート

倉敷成人病センター院長
安藤 正明 医師 Masaaki Ando

白衣についてのこだわりは、自分にとってどうかというよりは、**患者さんにとってどうか**が大事だと思います。私も院内では基本的には白衣を着ています。というのも、患者さんから見れば、よく知らない人にあれこれ診察されるわけですね。ビジネスの場で、ノーネクタイの人が商談の場に来たら、信頼が損なわれるのではないのでしょうか。白衣には威圧感があるかもしれませんが、**信頼を得る**ためにしょうがない部分もあります。**医療行為をスムーズにする**のは、双方にメリットです。

ウチの婦人科はみんなクラシコの白衣を着ているのですが、以前はベラベラの白衣だったので、何日か着るとすぐによれよれになってしまっていたんです。それではやっぱり、患者さんに不快感を与えますし、また、信用されないんじゃないかな、と。ビシッとしている方が着ている医師も、患者さんも気持ちがいい。クラシコの白衣は**型くずれしない**のがうれしいですね。

Profile

自治医科大学卒業。内科医として僻地診療に従事した後、1986年に倉敷成人病センター産婦人科入局。2001年に同院産婦人科部長就任、2009年に副院長就任、2015年に院長に就任。西安交通大学医学院客員教授、上海复旦大学(Fudan University)客員教授、日本産科婦人科手術学会理事、日本婦人科腫瘍学会評議員などを兼務する。



着用白衣:二重織りチェスターコート

札幌医科大学消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座教授
竹政 伊知朗 医師 Ichiro Takemasa

患者さんから見て、担当医の白衣が汚れていたりシワがついたりしたら、それだけで医療に対する信頼が揺らいでしまうかもしれません。社会人が日常にスーツを着る、結婚式でドレスや礼服を着る、これらは自分を良く見せるためではなく、自身を律するためのルーティンであり、**接する人に対する礼儀**です。

がん治療では、患者さんは生死を僕たちに預けてくれています。患者さんと医師の信頼関係がなければ、治療に支障をきたすかもしれません。がん治療の成績を1%でも上げるために、信頼関係を築くことは必要不可欠なステップです。そのためにも、医師は身なりに気をつけるべき、と考えています。

白衣を選ぶポイントは、**生地感が厚く、着てしっくりくる**ことですね。スーツを選ぶとき、ジャストサイズでしっかりした生地感でないと、見た目に違和感があるじゃないですか。だから、型崩れしやすいつい薄い素材の白衣は着ないようにしています。クラシコの白衣は、**生地がしっかり**していて、**デザインもすっきり**しているので、とても気に入っています。

Profile

大阪医科大学卒業。大阪大学医学部附属病院旧第二外科に入局。大阪大学医学部大学院を卒業後、同大学で助教、診療局長、講師を経て、2015年に札幌医科大学消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座教授に就任。現在、北海道から発信する最先端医療と地域医療の融合に精力的に取り組んでいる。

『PEOPLE WHO WEAR A LAB COAT』開設に寄せて



ライター 朽木 誠一郎氏 Seiichiro Kuchiki

今回の取材では、医療業界の中にもなかなかお会いする機会のない、「医師が憧れる医師」たちにお話を伺うことができました。彼らに共通していたのは、白衣を自分のためではなく、患者とのコミュニケーションのために身につけていること。名医と呼ばれる人たちほど、多忙を極める日々の現場でも、その立ち居振る舞いにおけるマナーやエチケットを疎かにしていないことは、私にとって新鮮な驚きでした。普段、なかなか垣間見ることのできない、スーパードクターたちの「仕事の信念」には、医療関係者もそうでない方々も、何かしら感じ入るところがあるはず。それでは、クラシコ特設サイト『PEOPLE WHO WEAR A LAB COAT』をどうぞ、お楽しみください。

Profile

ノオト所属・医学部卒のライター・編集者。大学時代にフリーライターとしてキャリアをスタートし、卒業後はメディア事業をおこなう企業に新卒入社。オウンドメディアの編集長として企画・編集・執筆を担当したのち退社。フリーランスを経て現職。主なテーマは働き方、テクノロジー、メディア、医療、アスリートなど。

Classico

PRESS RELEASE

2016年11月1日

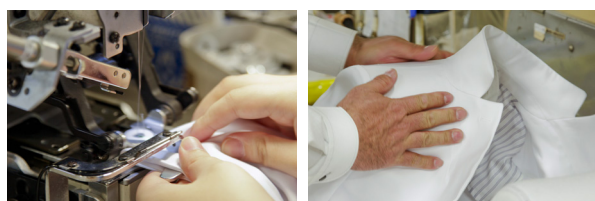
クラシコのこだわり



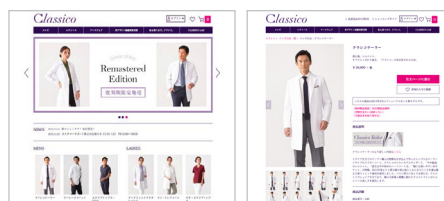
① テーラード技術で作られた立体的で動きやすいデザイン



② 素材から自社開発で仕事着としての機能性を追求



③ 国内屈指の有名ファクトリーをはじめ高品質な工場生産



④ 自社EC主体の販売により顧客の声を活かした商品開発を実現

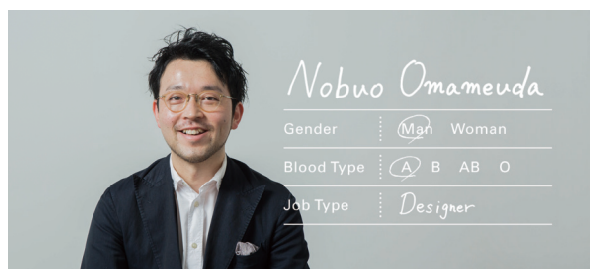
医療白衣は世界中を見渡しても青白くペラペラでクタクタのものだけであった2008年の創業当時、代表 大和が友人である医師の「あの白衣を着ると仕事のモチベーションがあがらない」という言葉を聞いて感じた「なんで誰もかっこいい白衣を作らないんだろう?」そんなシンプルな疑問から、当社は今までどこにもなかった新しい白衣を作りはじめました。医師が本当に欲しい白衣を徹底的に追求して素材から自社開発し、テーラード技術を取り入れ機能性とデザイン性にこだわった当社の白衣は、一般的なものに比べ約7倍の価格でありながら、現在では国内で約3万人の医師に支持されております。

現在では、テレビドラマ、CM、映画などで衣装として採用され、ファッションブランドなどのコラボレーションも行っております。今後、医療業界だけでなく世界中の白衣を着る人々に「かっこいい白衣のブランドといえ?」と尋ねた時に誰もが想起し愛されるブランドであることをビジョンに進化を続けて参ります。



代表取締役社長 大和 新(おおわ・あらた)

1980年、栃木県出身。立命館大学卒業後、IT関連企業の営業や事業開発を経て、友人医師のペラペラでクタクタの白衣ではモチベーションがあがらないという言葉から、差別化できるかっこいい白衣を作ろうとオーダースーツ職人の友人、大豆生田に声をかけ2008年に開業資金5万円でクラシコを創業。本業の仕事終わりの深夜と週末に白衣の生産とネット販売を始め、法人化。初月30着だった生産量が6年目には4,000着に、売上は100倍に成長。世界中から注文が集まる。現在は白衣にとどまらず聴診器などメディカル関連の新開発に取り組んでいる。



取締役/デザイナー 大豆生田 伸夫(おおまめうだ・のぶお)

1980年、栃木県出身。エスモードジャボン卒業後、銀座のオーダーサルト「ペコラ銀座」にて Cutter としてミラノ仕立ての服作りに携わっていたところ、高校時代に五十音順で後ろの席に座っていた同級生でもある代表の大和に声をかけられ、世界中の白衣を変えていこうと意気投合。共同創業者として、最高級のスーツを仕立ててきた技術をいかして生地から開発し、美しさだけではなく医療現場に求められる機能を兼ね備えた他にないクラシコ独自の白衣をつくり、2010年には主力商品が「インターナショナルデザインアワード」の最優秀賞を受賞。

【会社・製品に関するお問い合わせ先】

クラシコ株式会社 担当: 江村知也 emura@clasic.jp 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-42-13 TAKIビル B1F
TEL: 03-6427-4767 FAX: 03-6427-4768 Corporate site: <http://classico.co.jp> Brand site: <http://www.clasic.jp>

【ご取材に関するお問い合わせ先】

株式会社SUZU PR COMPANY 代表: 鈴江 恵子
TEL: 080-6390-8284 MAIL: info@suzu-pr.com URL: <http://suzu-pr.com>